

# エイズのことを正しく知って、正しく予防しよう

## 〈エイズってなに?〉

エイズ（AIDS）は、HIVというウイルスが原因で免疫力がひどく低下することで生じる病気の総称です。最近では、[HIV感染症]と呼ばれることも多くなっています。

## 〈エイズの特徴〉

1	HIVというウイルスで感染する。
2	性感染症（STD）であり、日常的接触では、感染しない。
3	感染後、平均10年の未発症期間があり、検査を受けなければ感染かどうかわからない。
4	未発症期間も、セックスをすれば他者にHIVを感染させてしまう。
5	現在のところ、完治させる方法はないが、未発症期間から治療を行なうことで、発症を抑制したり、症状をコントロールできる。

AIDS = Acquired Immune Deficiency Syndrome（後天性免疫不全症候群）

HIV = Human Immunodeficiency Virus（ヒト免疫不全ウイルス）

## 〈こんなことでうつる～HIVの感染経路～〉

HIVは感染者の①精液、②膣分泌液、③血液、④母乳のどれかが体内に入ることによって感染します。主な感染経路は3つですが、現在のところ、国内のほとんどがセックスでの感染です。

## 〈HIV感染を防ぐには〉

### セーフター・セックスを守ろう

セックスをするときは必ずコンドームをつける、出血をともなうセックスは避けるなど、より安全なセックス（Safer Sex）を守れば、エイズを予防することができます。

## 〈覚えがある人は検査を受けよう〉

### 検査は地域の保健所で

感染しているかもしれない…そんなときは、保健所で検査を受けることができます。

HIVに感染すると、その後6～8週間で体内にHIVの抗体がつけられます。この抗体の有無を調べる検査がHIV抗体検査です。検査を受けるなら、感染の可能性のあった日から12週間以上経過してから受けるようにしましょう。

HIVに感染していても治療を受けることで、エイズを発症せず、今までと同じ生活ができるようになりつつあります。


少しでも感染の心配があれば、積極的に検査を受けましょう。

（※京都市内での検査は下京区保健福祉センターで実施しています。）

### ◇保健所に電話で予約（匿名OK・無料）

検査の種類 ①通常検査（結果は1～2週間後に出ます）  
②即日検査（当日、結果が出ます） } の2つがあります

## 〈検査の受け方〉

<p>1 保健所に電話し、H I V抗体検査を希望と伝え、日時の確認、予約などを行う。  (匿名でも可)</p>	<p>2 検査当日は5～10ccほど採血。</p> 	<p>3 ①約2週間後の指定日に再び来所し本人だけに直接結果が伝えられる。 ※電話や郵便での結果報告は受けられません。 ②約1時間で結果をお知らせします。</p>
--	---	---

検査結果が陽性  
だったら……

感染していても早ければ早いほど、治療の効果ができます。  
必ず病院など、医療機関を受診しましょう。

## 〈差別・偏見をなくそう〉

エイズが“簡単にうつる”と思っていませんか？H I Vは感染者の精液・膣分泌液・血液・母乳が体内に入らなければ感染しません。つまり、性交渉以外の日常的な接触では、ほとんど感染することはないのです。ですから、むやみにH I V感染者やエイズ患者をおそれたり、避ける必要はありません。

## こんなことではうつりません！

- せき・くしゃみ
  - 鍋物など同じ食べ物をつつく
  - コップの回し飲み
  - トイレの便座やノブ
  - 口で吹く楽器などの共用
  - 蚊やノミなどの虫を介して
  - 握手や抱擁、軽いキスなど
  - OA機器や事務用品の共用
  - 吊り革・手すり
  - プールや共同浴場
  - からだが接触するスポーツ
- 

下記ホームページをご覧ください。

- ▶京都市エイズ（H I V）抗体検査について
- ▶京都府保健所等におけるエイズ検査案内
- ▶エイズ予防情報ネット（API-Net）



京都市エイズ啓発キャラクター  
「あかりん」